

沿岸域の水温は表層で「**平年並み～やや低め**」、下層で「**低め**」で推移  
(平成31年4月の海況と今後の予測)

平成31年4月19日  
茨城県水産試験場

## 1 海洋観測結果 (4/10, 12, 15, 16 : 調査船「いばらき丸」)

- ・水温の平面図を図2~4 (水温, 前月差, 平年差) に, 鉛直図を図5に示しました。
- ・荒天の影響で会瀬定線と大洗定線の一部が欠測となりました。
- ・水温は0m深で7~17°C台, 50m深で6~17°C台, 100m深で6~16°C台, 200m深で5~11°C台でした。
- ・前月と比較すると, 南下中の親潮系冷水の影響で, 0~50m深の会瀬定線の141° E付近で著しく降温傾向でした。100m深では広く降温傾向で, 中でも会瀬定線の沖合と大洗定線の沿岸側で特に降温傾向でした。200m深では大洗定線の沖合側で顕著に降温傾向でした。
- ・平年との比較では, 会瀬定線の0~50m深の141° E付近, 100m深の141° 30' E付近および鹿島定線の100m深の141° 45' E付近で「**低め**」でした。鹿島定線の50m深の141° 45' E付近および200m深の広い範囲で「**やや低め**」でした。大洗~鹿島定線の0~100m深では「**やや高め**」も見られました。
- ・会瀬定線の沿岸側で逆潮が観測されました。

## 2 本県周辺海面水温の現況 (図1)

- ・黒潮は大吠埼の南東40マイルを北東に流れています。
- ・本県の沿岸域には暖水が分布していますが, その沖を親潮系冷水が南下しており, 先端が大洗沖まで達しています。
- ・黒潮本流は本県沖を避けるように流れ, 北限は38° Nまで達しています。

## 3 今後1か月の見通し

- ・本県沖の親潮系冷水は, 表層で勢力が弱まる見込みですが, 下層では残るでしょう。
- ・黒潮の北限は北偏傾向を維持するでしょう。
- ・1か月後の水温は, 表層で「**平年並み～やや低め**」下層で「**低め**」となるでしょう。

(参考) 5月の0m水温 (東経142度まで) の30年平均 (1981-2010)

会瀬 : 13~15°C台 大洗 : 14~16°C台 鹿島 : 14~18°C台 大吠埼 : 15~20°C台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

(回遊性資源部 外山 太郎)

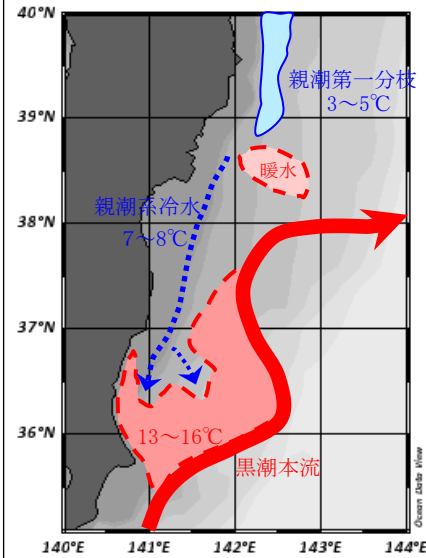
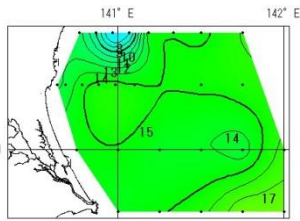
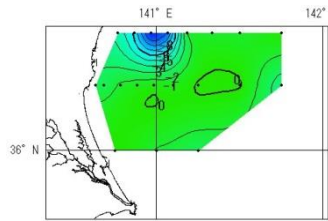


図1. 海面水温の現況 (4月17日)

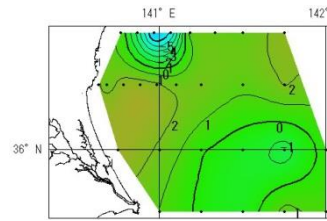
※水温は平年値と比較して,  
±1.5°Cが「平年並み」,  
±1.6~3.9°Cが「やや高め・やや低め」  
±4.0~6.0°Cが「高め・低め」  
±6.1°C以上が「極めて高め・極めて低め」



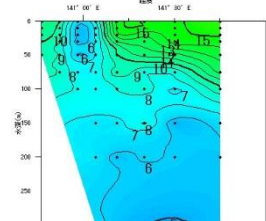
水深0m



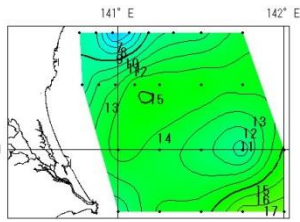
水深0m



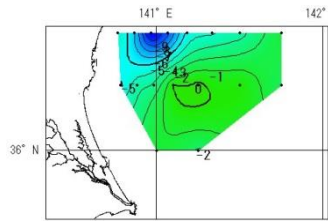
水深0m



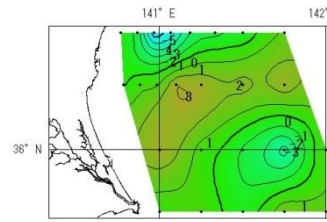
会瀬



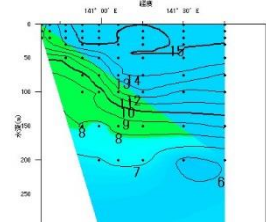
50m



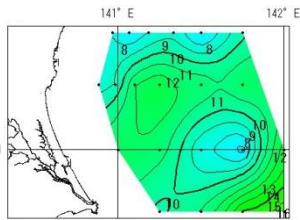
50m



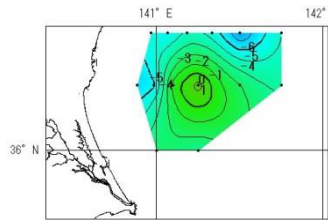
50m



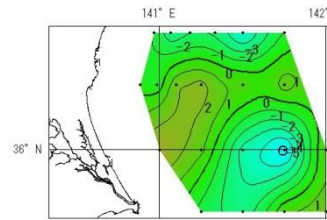
大洗



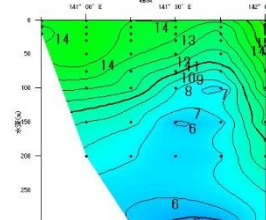
100m



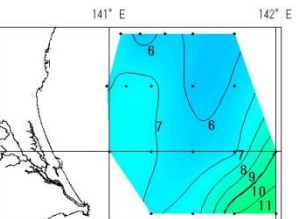
100m



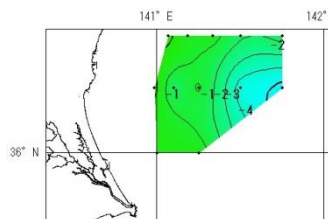
100m



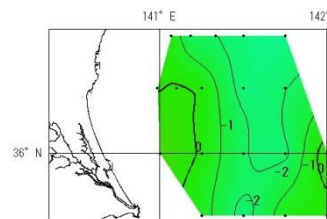
鹿島



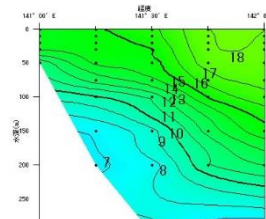
200m



200m



200m



大吠埼

図2. 層別水温

図3. 水温前月差

図4. 水温平年差

図5. 定線別鉛直水温

[次号予告] H31.5.3発行の「水産の窓」は、「船曳き網の漁況経過と春シラス魚の見通し」を予定しています。